

作業プロセス:



トヨタ 自己修復性耐スリ傷クリヤーK9570
塗装仕様 (Self-restoring coat) のポリッシュ
(ボカシ際処理)

素地:

前処理 /
クリーニング:

- ・ボカシ範囲全体を3Mトライザクトフィニッシングディスク (P3000クラス) とダブルアクションサンダーで研磨後、最終P4000で丁寧に足付け研磨処理。

塗装:

- ・Standocryl[®] VOC プラチナクリヤーK9570に10% Standox[®] 2Kソフトナーニュー5660を混合した後、Standox[®] VOC ハードナー類と2:1で混合し補修箇所に塗装
- ・混合済みクリヤー とStandox[®] 2Kシンナーを2:1 で混合しボカシ際に塗装・・・①
- ・①で希釈したクリヤーとStandox[®] 2Kシンナーを更に1:1で混合しボカシ際に塗装・・・②
- ・必要に応じて②で希釈したクリヤーとStandox[®] 2Kシンナーを更に1:1で混合しボカシ際に塗装

乾燥:

- ・最終フラッシュオフ5～10分 / 18～22℃後に強制乾燥45分以上 / 60～65℃ (パネル温度)
- * 必要に応じて赤外線 (IR) で追加乾燥を行う

クールダウン (空冷後) の工程:

- ・必要に応じて、3Mトライザクトフィニッシングディスク (P3000クラス) を使用しダブルアクションサンダーで塵・埃研磨処理。特にボカシ際処理に注意。

ポリッシュ:

- ・極細目コンパウンド等を使用しポリッシュ仕上げ
- * ポリッシャーは低速回転で冷却しながら丁寧に処理

重要ポイント:

- ・ポリッシュ仕上げが十分かどうか確認するため、クリーニング剤で油分や残りカスを取り除き確認。
仕上げが十分でない場合、再度ポリッシュ工程を行う。
- ・このクリヤーは出来る限りパネル塗装を行う

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」